|  |  |
| --- | --- |
| **21**（月） | の |
|  | **使8章4～8節**　ピリポはサマリアのにってき、にキリストをべえた。はピリポのをき、がっていたしるしをて、がることに、そろってをくようになった。(5～6) |
|  | のやぐらをっているりは、がくださったみことばをってのをみます。のは、このをむRemnantにあります。それなら、このをんでくRemnantがずっておくなことはでしょうか。１つ、パウロはと、にりました。にせば、にったのです。で\*TCKをてて、をつけててるがです。あらゆるにもてるがあります。２つ、んでいるのところにってきます。ペテロは、はじめからのなをてこしました。は、サマリアでんでいる、につかれたをしました。パウロもんでいるをかしました。13、16、19では、をかすきをいました。３つ、パウロはとにいました。は、をけるをとしていて、をかすのです。そして、Remnantをサミットになるようにけます。タラントをするようにければいのです。はでRemnantがくをられます。のやぐらをってのをむをいてみましょう。\*TCK：にのとのののでむ３のどもたちのことです。 |
|  | 、のをむをくりのえがまりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.04.19.第27次世界宣教大会2講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **22**（火） | のしるべ |
|  | **ヨハ19章30節**　イエスはいぶどうをけると、「した」とわれた。そして、をれてをおしになった。 |
|  | のすべてのきは、をえることとともにきます。それゆえ、をえるのみがです。がべえられたにわりがるからです。をえるのために、Remnantはローマ16のになることをりましょう。１つ、のになりましょう。まずに、のに\*がられるようにけます。それでこそ、\*がすることができます。したではをけて、のどもたちができるようにをります。２つ、のになりましょう。すべてのRemnantとがタラントをすることができるようにけるのです。そして、そのがをってするようにけます。３つ、のになりましょう。をかすになってすることができるようにけるのです。RemnantがつようにけるRemnant Minister、をてるHoly Masonになるようにりましょう。たちのではできませんが、がえてくださればできます。Remnantはとをけるローマ16のになるようにりでしましょう。\*：とでされたで、のでこることをめます。\*：ほかのにけてもらわないでらつことです。 |
|  | 、のしるべをくローマ16ののえがまりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.04.19.第27次世界宣教大会3講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **23**（水） | のれをえた |
|  | **ガラ2章20節**　もはやがきているのではなく、キリストがのうちにきておられるのです。がにおいてきているいのちは、をし、のためにごをえてくださった、のにするによるのです。 |
|  | 、のがをざしてっています。がをえなければ、のはにって、わざわいにあうしかありません。Remnantは、をって、このようなのれがわるのをましょう。１つ、９つのことによって、れがわります。すべてをくて、くて、くてこそ、ながかります。と、をれば、なえをつようになります。、、をれば、すべてのをくすることができます。２つ、りをして、９つのれのをえましょう。にはえませんがかれているののやぐらをイエスがたちにくださいました。これがのプラットフォームになればいのです。のがのりになります。なをえることができるしるべが、のアンテナになります。３つ、えがるがあります。ただ、、がシステムになることです。えがえられます(OURS)。がとともに、たちとともに、すべてのことのにのきがともにあることがシステムになるのです(WIOS)。キリストにあってしいになることが、なDNAをえることです。はこのをっているRemnantをしてをかされ、をかしてくださいます。 |
|  | 、がをざしてくこのに、をかすをつレムナントになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.08.17.核心訓練 |

|  |  |
| --- | --- |
| **24**（木） | のやぐらをちしなさい |
|  | **Ⅱコリ10章3～6節**　たちはなと、のにらってつあらゆるぶりをちし、また、すべてのはかりごとをりさえて、キリストにさせます。(4) |
|  | Remnantは、のが、、、であることがえるでしょうか。それゆえ、にあるのやぐらをちすのです。そのために、キリストのをいしましょう。そのとき、がつのことをせてくださいます。１つ、がえてくださったを、まずすることです。のがとともにおられることをじて、のをわいましょう。そして、のに237かをかすつののやぐらがつようにりましょう。そのとき、のやぐらがのやぐらになりめます(７やぐら)。２つ、はたちになをするをえてくださいました。このをっているRemnantのは、キリストのをらすのです(７)。３つ、をかすしるべがえます。すると、をくがえます。のやぐらをえることができるのことがのしるべになります(７しるべ)。Remnantはがくださった７やぐら、７、７しるべをわいましょう。このえをっているひとりをして、のやぐらがちされのやぐらがてられます。 |
|  | 、りのせをわって、ののでとしてきますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.08.18.1部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **25**（金） | のをかすをっているレムナント |
|  | **Ⅱコリ12章1～10節**　ですからは、キリストのゆえに、さ、、、、をんでいます。というのは、がいときにこそ、はいからです。(10) |
|  | Remnantは、いまは、のをかすをえましょう。がかすをえてくださったRemnantは、のをかして、をかします。それなら、Remnantがにっておくことはでしょうか。１つ、Remnant７がけたえをりましょう。ヨセフは、のをにいていました。はヨセフをのがるとわれるようにしてくださいました。をつRemnantひとりをして、がのえをしげられたのです。２つ、パウロのなをてみましょう。パウロは、のをして、ユダヤをけました。しかし、それによってはできないことをかりました。りのいをして、ことばにできないみをがえてくださったといました。３つ、パウロがしたことをりましょう。パウロはにって、にキリストをしました。これがまことのやぐらです。のをくと、まことのえをけるしるべもえました。Remnantはがえてくださるをわって、なをちましょう。そのとき、Remnant７のように、がかしてくださるをけて、のとをかすえをわうでしょう。 |
|  | 、のをかすをつRemnantとしてえられますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.08.18.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **26**（土） | レムナントののて-をること() |
|  | **使1章8節**　しかし、があなたがたのにむとき、あなたがたはをけます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの、さらにのてまで、わたしのとなります。 |
|  | Remnantはのをかすをって、のてにかいます。Remnantののてはでしょうか。それは、をて、をすることです。Remnantは、のみことばをして、をしましょう。１つ、もしいときに、がえてくださったみことばがあります。をにもにも、をぐようにぐとわれました。やはし、はを、はをるとわれました(ヨエ2:28)。２つ、イエスのがあります。けがたちにめば、たちといつまでも、ともにいてくださり(ヨハ14:16)すべてのことをいこさせてくださるとわれました(ヨハ14:26)。そして、これからこることをえてくださるとわれました(ヨハ16:13)。３つ、このみことばがそのまましました(2:17-18)。Remnantには、のえではなく、をるがです。イエスは、エルサレム、ユダヤ、サマリア、のてまで、たちをとしてくださいます。Remnantはのてまでになるというイエスののみことばをってちましょう。はRemnantをして、237か５をかしてくださいます。 |
|  | 、をて、するRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.08.24.レムナント伝道学 |